

【5月の保育】

年少うさぎ組

子供園での生活に徐々に慣れ、支度が終わると自分の好きな遊びにすぐに取り組んだり、「せんせい！」と笑顔で話してくれたりする姿が増えました。園庭探検などをして、子供園の自然にもたくさん触れながら戸外で遊ぶことも楽しんでいます。

今月は、好きな遊びを見つけて繰り返し楽しんだり、保育者と触れ合いながら体を動かすことの楽しさを感じたりすることができるようにしていきます。

生活面では、靴の脱ぎ履きや着替えなど、身の回りのことを自分でやってみようとする気持ちをもてるようにしていきます。個々のペースに合わせながら、「自分でできて嬉しい」という経験が積み重ねていきます。

年長ぞう組

新しい保育室、遊具など、“憧れの年長組”の生活を張り切って進めてきました。色水遊びで自然物や水に触れたり、みんなで体を思い切り動かしたりすることを楽しんでいます。

今月は、友達と遊びや生活を進めていく中で、自分の思いや考えを出そうとする姿を認めながら、相手の気持ちにも気付けるように、丁寧に支えていきます。

遠足では、みんなで動物をよく観察したり、乗り物に乗ったりすることを楽しみます。遠足という共通体験が、子どもたちの遊びのきっかけになり、再現して遊ぶ楽しさが感じられるようにしていきます。

年中くま組

自分がやりたい遊びを見つけて楽しむ姿がだんだん増えてきました。4月に引き続き、安心して楽しく遊ぶことを大切に、「自分のやりたいことができる」「やってみたら楽しかった」という気持ちが積み重なるようにしていきます。

体を動かすのに心地よい季節です。体操をしたり、かけっこをしたりする時間も大切にします。ドキドキしていた子も、見ているうちに「なんだか楽しそう！」と近付いてきて、少しだけやってみたりする姿が徐々に増えています。新しいルールのある遊びも取り入れながら、みんなで一緒に遊ぶ楽しい雰囲気味わえるようにします。

